

事務事業評価 (CHECK)

| 新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過) | | 全国的に大人の風しんが流行する中、関心度も高まり問い合わせがあった。大人でも接種可能な市内医療機関の把握や周知を行った。 | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------|---|---|---|---|---|--|---------------------------|---|--|--|
| 事務事業評価 | 自己判定 (担当責任者) | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 4 3 2 1 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。 | 5 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | S | 事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題 | 接種率向上のため、予防接種の種類別(対象者別)に時期を考え接種勧奨を行った。乳幼児健診や就学時健康診断等で直接保護者に接種勧奨をするだけでなく、各種連絡会で保育所・学校にも協力を依頼した。 | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 4 3 2 1 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 | 5 | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 | 4 | | | | | | |
| | | 有効性 | 事業の効果 | 5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 | 4 | | | | | | |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 | 4 | | | | | | |
| | | | 施策への貢献度 | 5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。 | 4 | | | | | | |
| | 効率性 | 手段の最適性 | 5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 | 4 | | | | | | | |
| | | コスト効率 | 5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 | 3 | | | | | | | |
| | | 市民(受益者)負担の適正 | 5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 | 3 | | | | | | | |
| | 一次判定 (所属長) | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 4 3 2 1 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 予防接種法に基づき、実施が義務付けられている事業であるため、継続事業とする。 | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 | 4 | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 | 4 | | | | | | |
| 有効性 | | 事業の効果 | 5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 | 4 | | | | | | | |
| | | 成果向上の可能性 | 5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 | 4 | | | | | | | |
| | | 施策への貢献度 | 5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。 | 4 | | | | | | | |
| 効率性 | 手段の最適性 | 5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 | 4 | | | | | | | | |
| | コスト効率 | 5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 | 3 | | | | | | | | |
| | 市民(受益者)負担の適正 | 5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 | 3 | | | | | | | | |
| 所属長の課題認識 | 効率性 | 市民(受益者)負担の適正 | 5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 都度、制度改正に伴う適正な取組を実施する必要がある。平成31年度には新たに風疹予防接種を実施するほか、高齢者肺炎球菌の継続が決定された。継続的にA類の接種の干渉に努め、接種率の向上に努めていく必要がある。 | | | | |

| | | | | |
|-----------|------|-------------------------------------|---|--|
| 施策を踏まえた判断 | 二次判定 | <input type="checkbox"/> | 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 | ⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | |
| | | <input type="checkbox"/> | 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。 | |

| | | |
|---|------|-------|
| 行政評価委員会の答申 | 外部評価 | 答申の内容 |
| <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div> | | |

今後の方向性 (ACTION)

| | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|------------------|---|
| の経営者判断議 | 事業の方向性 | コメント欄 | |
| | <input type="checkbox"/> | さらに重点化する。 | <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div> |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 現状のまま継続する。 | |
| | <input type="checkbox"/> | 右記の点を見直しの上、継続する。 | |
| | <input type="checkbox"/> | 事業の縮小を行う。 | |
| <input type="checkbox"/> | 事業の休止、廃止を行う。 | | |